



園だより

平成29年12月6日 二条保育園発行

園庭のさざんかがひとつ、ふたつ花をつけ始めました。冬がやってくるのだなぁと感じさせられます。子供たちの体調は、様々な感染症も収まり、鼻水はあるものの比較的元気に過ごせています。

発表会ももうすぐ。このまま体調良く、みんなで参加できますように…。本日のリハーサルには朝早くの登園へのご協力ありがとうございました。衣装で登園の子どもたちは、今日が晴れ舞台とばかりに興奮した様子で「なんか、かわいてきたー！」など言い合って盛り上がっています。それぞれの舞台も無事終わり、顔を見るなり年長さんなどは「頭まっしろやったけどな、できた。でも、ずうーっと緊張してたんやで」「私も緊張したけどがんばれた！」と話してくれました。今までもこれからも、うれしい時も悲しい時も傍にいてあふれる思いに耳を傾け、交わし合う日々を過ごしていきたいと思いました。

絵本の研修に参加しました。研修案内はひっきりなしに送られてきます。その中で久々、心が揺さぶられる経験をしました。絵本の紹介や、読み方ものお話しも心地よく、読み手の感性の自由さも受け止めてもらえるようなお話しでした。

ある事例が印象に残ったのですが、大学でも教べんをとっておられる講師の先生は、学生への宿題に「絵本を誰かに読んでもらうこと」というのをしておられるそうです。その学生さんは4人きょうだいで育ちましたが、子育てに疲れた親御さんと離れて暮らさなくてはならなくなったそうです。この宿題を出された時に、学生さんは「そうだ、お母さんに読んでもらおう」と思い、離れているお母さんに電話で読んでもらいました。幼い時は絵本をよく読んでもらっていて、その思い出が一気にふたを開けたようにあふれ出して涙が止まらなかった…離れて暮らさなくてはならなくなったことを恨んでいたけれど、再び絵本を読んでもらったことで、愛されていた自分ということ思い出し、また、がんばって生きていこう、満ち足りた気持ちになった…とのことです。

絵本はだれでもが手に取りやすい身近な存在。子どもも絵本が大好きです。一緒に絵本を見ている時の子どもの表情がたまらなくかわいいな〜と。こちらも幸せな気分になります。上記の事例は深いなぁと思いますが、意図せず、身近な絵本を、一緒に生活するものとして楽しんでいたらと思いました。

行事予定

- 1日(金) 生活発表会リハーサル
 - 9日(土) 生活発表会
※詳細は後日お伝えします
 - 12日(火) 陶芸教室(月・雪組)
 - 13日(水) 乳児健康診断
 - 15日(金) 雪組お泊り保育 13時に集合
 - 16日(土) 雪組お泊り保育 10時50分頃帰園
※八瀬野外保育センターにて
 - 19日(火) お弁当日
 - 20日(水) お誕生会・クリスマス会
 - 26日(火) おもちつき
 - 28日(木) 保育終了(平常保育)
-
- 1月 4日(木) 保育開始(平常保育)

